

新型インフルエンザの予防接種ワクチンについて

2010年5月19日

NPO 法人アレルギー児をささえる全国ネット「アラジーポット」

日本患者会情報センター

栗山真理子

【患者会5団体と】（組織体として）

■5団体とも、電話でのワクチン接種に関する質問はほとんどなかった。

■各患者会では、厚生労働省のアレルギー対応マニュアルの紹介、学会等のHPの紹介など、信頼度の高い情報などへのリンクを紹介することによって、信頼できる情報を提供することができた。

■厚生労働省が、一部メディアでは過剰といわれるほどの情報を提供していた。

→ どこから情報をとれば真実の情報かと言う迷いがなかったことが、「ハイリスク」といわれる人たちが、安心して行動できたのではないかと集まった5団体は、共通の認識を持った。

→ 情報の一元化は、一般の人にとっても安心につながったと思っている。

■行政が一方的に対応を決めるのではなく、

- ・新型インフルエンザ対策に関する意識調査など、患者会に対する事前アンケート調査

- ・「新型インフルエンザ患者会ミーティング」による不安と、患者会の有する情報の収集

- ・「意見交換会」という場の提供

- ・「新型インフルエンザ対策（A/H1N1）喘息などの呼吸器疾患のある方へ」パンフレット作成など、患者視点で求めている情報に基づいた情報を提供する努力があった。

【アラジーポットのメールニュースによるアンケートから】（個人の体験から）

■開業の先生に、優先接種の理解がなかった。医師への情報提供をお願いしたい。

■都の時間外接種による、かかりつけ医の接種医辞退（かかりつけ医で受けられないと、受け入れ先が見つからない）

■かかりつけ医の「最優先接種証明」の有効性

■区、市の行政区分によって、優先接種を受けられない

■どこに行けば接種出来るのかが分からない。電話をかけまくって調べるしかなかった

→ 誰でもができることではない

【喘息以外で】

■食物アレルギーのうち、卵アレルギーのお子さまへのワクチン接種にはまだ不安がある

■接種ができない人がいることの理解を得たい。

■接種をしない選択肢を残して欲しい。

■うちの職員が打つ分もない、といわれた。

アラジーポット：<http://www.allergypot.net>

日本患者会情報センター：<http://www.kanjyakai.net>